

関東民放クラブ活動だより

ダンスの会

優雅にダンスデモを披露

橋本春海（CTC）

コロナ感染や今夏の異常な暑さに負けず、関東民放クラブダンスの会会員の今井香恵さん（TFM）が、過日、ダンスのデモンストレーションを行った。

去る8月1日（日）午後1時から、品川の港区健康センターホールで開催された、第9回ワイズダンスサークル発表会の会場で行われたもので、今井さんは、およそ100人のダンス愛好家が見守る中で、スタンダード2種目の踊りを披露した。

まず、スタンダード種目のワルツでは、佐山卓司プロとコンビを組んだ。そして、奏でる音楽にのせ会場一杯を使って身体を動かし、優雅に踊り切った。

続いて同じくスタンダード種目のスロー、リーダーは三坂和彦プロ。今井さんは、リーダーの動きを正確に捉え、フロアーをしつかりと踏みしめて、煌びやかな内に見事に踊り納め、会場からは、惜しみない拍手が送られた。

デモの後、今井さんは練習期間が4か月しかなく、今回は充分なデモンストレーションには届かなかったが、この経験を活かし民放クラブダンスの会に少しでも役立てればと、遠慮がちに感想を述べていた。

なお、このパーティーには、今井さんの招待を受けて、関東民放クラブダンスの会から、高山邦子（TVI）、橋本春海（CTC）の2人が参加。トライアルで、ワルツ・タンゴ・ルンバ・スローの4種目の踊りにチャレンジした。



ダンス デモンストレーション

シニア世代を指導する

SNSビデオの会

新居 良彦（SUN）

「スマホを買ったけど、使い方

がよく解らないから教えてよ」と近所に住む奥さんから声を掛けられる。SNSビデオの会の会員H氏は、自慢げに「これは、こうするといのですよ」と操作を教えて喜ばれている。

まさしく、シニア世代に対する社会貢献事業である。

H氏がSNSビデオの会に入会したのは、今から4年前の同好会発足とともにであった。当時、彼自身、ガラ系からスマホを導入したものの全く使い方が判らず、困っていたところ、会員仲間の指導を受けて、今では一人前のスマホマンに成ったのである。

以後、会員や同好会の活動は多岐にわたっており、日本会報誌掲載の「私の放送人生」や他同好会のVTR収録と編集、YouTubeへの投稿の他、直近では講師を招き、スマホに備えられた各種ソフトの使い方や、パソコンへの連動操作、特に動画の撮影、編集、タイトル挿入、ナレーション、音入れ等の学習に力を入れている。

コロナ禍の中で、会員達は、Zoomアプリを利用しての、月1回オンライン講習に、積極的に参加して熱心に学んでいる。そして、

会員各位が世間のシニア世代の新しいスマホマンにお役に立てばと頑張っている。



Zoom を使ったのオンライン講習



秋紅葉 神宮外苑の銀杏（東京）